

造血幹細胞移植医療体制整備事業
主観的評価(ヒアリング)実施のための事前調書

本調書は、造血幹細胞移植医療体制整備事業選定・評価会議において当会議構成員が主観的評価を行う際に参照するためのものです。

○ 診療実績の向上に対する取り組み(目標数とその根拠等)

※ 造血幹細胞移植推進拠点病院では、骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植をコンスタントにバランスよく実施することで、いずれのソースでも適切に対応できることが求められます。移植数の増加や治療成績の向上に結びつく具体的で実現可能な取り組みの計画がなされているかを中心にヒアリングを行いますので、貴病院における取り組み(移植件数の目標数とその根拠等)について記載願います。

○ 人材育成プラン

※ 移植に携わる医師、コメディカルの育成に当たっては現場での症例の蓄積が重要であるとともに、チーム医療を行うためには専門家を多数育てることが重要です。何人ほどがどの程度の経験を積んで育成できる環境にあるのかやサポート体制・教育プランがどうなっているかなど、実際に現場で役立つ人材育成プランについてヒアリングを行いますので、貴病院の人材育成プランについて記載願います。

○ 早期採取への具体的な取り組み

※ 早期骨髄採取のためには手術室の確保が最も重要と考えられます。手術室の枠が定期的に確保できるかまたはそれに匹敵するような対応をとることができるか、そしてそれによって具体的に何件程度の採取が可能となり、またどの程度骨髄採取までの期間の短縮が見込まれるかという点についてヒアリングを行いますので、貴病院における早期採取への具体的な取り組みについて記載願います。

--